



吉崎別院便り

バラバラでいっしょ！ になれるところ

台風一過 御山彼岸会法要を勤修

蓮如講員、近隣住民方ご参拝で賑やかなお彼岸

毎年秋分の日・春分の日に勤まる「御山彼岸会法要」に遠近各地より25名の方々が参拝されました。この法要は吉崎御坊跡地（通称・御山）の蓮如上人銅像前で、西別院と合同で勤められます。読経後には参拝者のお焼香が順次あり、蓮如上人に静かに手を合わせている姿が印象的でした。



難波別院・宮浦一郎輪番ご参拝 蓮如上人のご苦勞を偲ばれる



難波別院は、蓮如上人82歳の時、現在の大阪城の地に「石山本願寺」を建立したことに由来します。今回、五辻輪番のお誘いで参拝されました。

「どうぞ、吉崎をお訪ねください」

蓮如上人もお勤めになった彼岸会
諸説あるものの、蓮如上人が吉崎の地で彼岸会をお勤めになったことを「帖外御文」で伺い知ることができません。「春秋の両時、天正地正と申して昼夜の長短なく、暑からず寒からず・・・仏法修行のよき時節なるにより・・・参詣の足を運び、法会に出座するものなり・・・肝要と申すは後生助け給えと信じ、難行雑修をすてて極楽往生すべきなり」彼岸会がなぜ春と秋に勤まるのか。また真宗門徒にとって彼岸会の意味とは何か。御山に立つ蓮如上人の「今現在説法」に確かめる歩みをいっしょにしたいものです。